

# 令和6年度 第3回 中能登町立鹿西小学校 学校運営協議会 会議録

|         |                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|
| 【日 時】   | 令和7年2月25日（火）13：30～15：10                                                   |
| 【会 場】   | 中能登町立鹿西小学校 多目的室                                                           |
| 【出 席 者】 | 池本 智明、泉 知久、今町 幸子、大森 宏一、四伊 深雪、中島 登<br>宮田 政雄、横町 昌宏 学校長（50音順） 学校代表者：西崎 唯一 教頭 |
| 【欠 席 者】 | 学校教育課：高木担当課長、生涯学習課：平岡                                                     |
| 【事 務 局】 | 生涯学習課：大野主査 山口                                                             |

【進行】鹿西小学校：西崎教頭

## 1. 開会あいさつ

《大森副会長》

早くも今年度最後の学校運営協議会となった。皆さん、1年間ご苦労様でした。

大雪が降り、雪透かしや子どもたちの登校など、大変な想いをされた方も多かったと思うが、春の兆しが見えてきたので、さわやかな、良い卒業式の日を迎えてもらいたい。本日も、良い協議をしていきたいと思うので、よろしくお願いします。

## 2. 学校経営報告・授業参観・学校評価 ～横町校長より、資料を基に説明～

<意見等>

- 働き方改革に向けての取り組み内容について、伺いたい。

⇒ICTを活用し、会議のペーパーレス化やアンケート実施など、事務負担軽減を進めている。また、地域の教育資源の活用においても、生涯学習課からの協力のおかげで、業務に係る時間や内容の軽減につながっている。

⇒町教委から、19時退庁に努めるようにとの指導を受けている。学校では、月に2回程度の定時退校日を設けるなど、時間を意識しながら業務に当たるようにしている。

- 授業について、昔とはずいぶん雰囲気が変わっている。

⇒今日（こんにち）の授業は、子どもが黙って座っていることはなく、子どもたち同士がたくさん対話をしながら、自分の考えを深める、練り上げる授業となっている。子どもたちに学習活動を委ねた授業が中心となっている。

⇒昨年度、「書く活動を大事に」とのご指摘を受けた。タブレットの活用や技量は進んではきたが、やはり書く力が本校の課題となっている。今年度、書く活動を意図した取組に時間を割けなかったが、職員間でいろいろなアイディアも出されており、次年度につなげていきたい。

- 評価項目に読書活動の充実とあるが、読書活動は個人個人に任せている状況か？

⇒鹿西小では、図書館司書、図書委員会の児童が様々な取組を企画し、啓発に努めている。

また、朝のスキルタイムを活用した多様な読み聞かせ等も行っており、読書への関心が高まるように努めている。町立図書館の「うちどく（子どもと親が読書をして感想を書く取組）」にも積極的に取り組んでおり、「うちどく賞」を受賞する子も多い。

- コロナ禍明けでも、窓が開き、空気の入替えが実施されており、健康保持・増進のために工夫されているなど感じた。

⇒地震のアンバーサリー反応があらわれた子や心の状態が気になる子をはじめ、子育てに悩む保護者もスクーカウンセラーにつなげてきた。また、高学年を対象に、スクールカウンセラーによる全員面談も行ってきた。心の健康にも取り組んできている。

- 4年生の授業に地域サポーターとして参加したが、子どもたちの姿勢がとても良かった。

- 学校だよりでは、学校や子どもたちの様子がとてもよく分かる。校長先生の学校経営報告のプレゼンも素晴らしく、より良い印象を受けている。校長先生の熱い想いが伝わった。

- 6年生の娘から、学校が楽しいと聞いている。とても感謝している。

### 3. 協議

#### ①コミュニティ・スクール成果報告 ～大野主査より、資料を基に説明～

<意見等>

- コロナ禍が明け、今年度は学校行事に委員さんにも参加いただくことができた。委員のみなさんに、学校の色々な姿を見ていただくことができたのも成果の一つだと感じている。
- 自分たちなりのことしかしていないが、CSとしては成功なのか？  
⇒学校としては大成功だと実感している。学校運営協議会委員のみなさんをはじめ、地域サポーターのみなさんのお力添えで、学校と地域が繋がるきっかけがたくさんできた。これからは、学校づくりに留まらず、学校が地域づくりに関わっていければと考えている。

#### ②通学路の安全確保についての周知活動について

<意見等>

- 久江踏切付近・郵便局前には、現在見守り隊の方がいらっしゃらない状況。
- ご提案頂いていた安田医院付近の見守りについては、冬場は特に難しいので、学校から区長さんにお声がけはしていない。
- 郵便局～正谷ストアまでのスクールゾーンにラインを引いて頂くことを実現できたら良い。  
⇒学校・PTA・地区の方からも、多方面から声を挙げていく。
- 公費解体で町に出入りしている外国人が多く、ルールを知らない方も多いので、周知していく必要がある。  
⇒町で日本語教室を実施しているが、地域のルールを守ってもらえるよう、アプローチを試みる。注意喚起していきたい。
- 来年度4月に『ながら見守り』を周知していく予定だが、羽咋の邑知地区で、「邑知っ子見守り隊」というステッカーを張っている家がある。ただ見ているだけでは、「不審者？」と思われる可能性もあるため、とても有効ではないか？子どもたちがステッカーを作って、地域の方に貼って頂くというのはどうか？
- 子どもたちは屋根雪の危険性を分かっているか？  
⇒子どもたちに「屋根雪注意」「路面凍結注意」を伝えているが、子どもたちがずっと注意するというのは難しい。  
⇒昔は雪止めがなかったため、落ちているものだと思っていた。  
⇒学校としては、繰り返し指導していきたい。
- 来年度は、PTAにも協力いただき、役員全員が見守り隊に入ってもらおう。
- 金丸地区のスクールバスの待合所を、震災の影響で金丸駅に変更していたが、被害を受けた住居の解体が進み、以前使用して場所が更地の状況となっている。しかし、今後も金丸駅を待合所としていきたい。  
⇒バスは郵便局の横道を通って駅に留めているが、道幅が狭く、混雑するため、住宅地側から回ってもらってはどうか？  
⇒駅から郵便局の横道を通り、大通りに出るところが地震の影響で段になっている。区から要望を出している状況。
- 来年度以降も継続して、皆さんのお知恵をお借りしながら、子どもたちの安全を確保していきたい。

#### ③令和7年度の方角性について ～横町校長より説明～

コミュニティ・スクールの導入によって、学校が恩恵を受けることが多かったが、今後は、学校が地域のためにできることも検討していきたい。例えば、地域の防犯マップを作ったり、災害時にできることを提案したり。子どもたちに、地域の一員として活躍できる力も身に付けさせていきたい。

全て実現できるとは思っていないが、地域への発信、地域のために子どもたちができることを模索していきたい。来年度の学校運営協議会でお示ししたい。

### 4. 閉会あいさつ

《中島会長》

皆様のご協力のおかげで、色んな意見が出て、学校にも良いかたちで協力できたのではないかな。是非、来年度以降も協力頂きたい。1年間、ありがとうございました。